

| | | | |
|------|---------|-----|----|
| 活動区分 | イベント企画型 | 連携先 | 企業 |
| | IT活用支援型 | | |
| | 情報分析型 | | |

～ フェリーさんふらわあにおける若者向けプランの企画(1-1グランプリ) ～

活動の様子



さんふらわあで美の旅(チームUKSA)プレゼン風景



映えて若者を惹きつける! ~フェリー乗船大作戦! ~ (りゅうかちゃん船の旅) プレゼン風景



XRを活用した謎解きフェリーイベント(ULT_UM) デモ風景

企画・活動概要

2021年度神戸イノベーターズグランプリは、株式会社フェリーさんふらわあの協力を得て、「若者向けカジュアルクルーズの提案」というメインテーマ設定により企画提案を行った。上田真由美ゼミ(2年生)では、3チームが参加し、そのうち2チームが決勝に進出し、1チームは3位に入賞した。

若者による若者のためのフェリーさんふらわあを活用した神戸-大分ツアープランという狙いのため、上田ゼミでは、ゼミ生が若者目線で考えるとともに、ゼミでの活動内容を活かし、情報技術を活用した企画提案を行った。

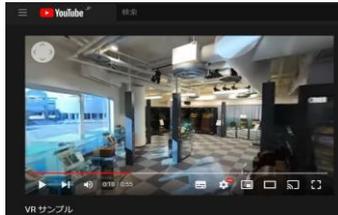


ULT_UM表彰風景

経緯・背景・目的

全体のテーマは「若者向けカジュアルクルーズの提案」であったが、上田ゼミではその後の研究演習のテーマにつなげることも考え、ゼミの特徴である情報技術を活用するという点を独自にテーマに加え、取り組んだ。

取り組みでは、現状の問題点、提案を実現するための手法、競合との差を明確にするよう、気を付けて準備をした。前年度に引き続きコロナ禍のため、ゼミ時間外に集まって作業をすることを減らすよう、クラウドサービスの活用などを積極的に取り入れた。



構築したVR空間(ULT_UM)

取り組む課題

2年生3チームの提案内容は以下の通り。

- ・さんふらわあで美の旅(チームUKSA)
女性をターゲットにした提案。@コスメと連携し、フェリー内で美容体験会の開催を提案。また、女性目線で大阪神戸の観光マップを作成。
- ・映えて若者を惹きつける! ~フェリー乗船大作戦! ~ (りゅうかちゃん船の旅)
若者が多く活用するSNSと、通勤・通学時に目につく駅構内のデジタルサイネージと写真コンテストを合わせた提案。
- ・XRを活用した謎解きフェリーイベント(ULT_UM)
人気の「謎解き」とXRを組み合わせた提案。実際にARを活用した謎と特典となるVR環境も構築。



チームUKSAプレゼン資料一部

本学(学生)の役割

企業から与えられた課題に対して、提供されている情報と、自分たちで収集した情報を分析し、解決策となる提案を行うことが学生の役割である。2年生ゼミであり、自ら主体となって考える活動になっていないことを考慮し、グループで「自分たちならどのようなサービスがあればフェリーに乗りたくなるか!」ということを議論した。ただし、企業に対する提案であるため、単なる「思いつき」ではなく、「現状の問題点」、「提案」、「提案を実現するための手法」、「競合との差」について考え、企業に対して説明できるように準備した。



りゅうかちゃん船の旅プレゼン資料一部

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

チームUKSAとULT_UMが決勝に進出し、ULT_UMが3位に入賞した。初対面で活動開始で最初は苦労したが、議論を重ねるうちに親しくなり、活発な議論ができた。活動の中で、若者ならではのアイデアは大切だが、アイデアだけでなくその根拠が重要であることを説明し、データ分析力を身に付けるよう指導した。各グループでゼミ活動につながる提案をしたが、3位になったチームは、「提案」だけでなく、実際にサンプルを作成した点が評価されたと考える。最終プレゼン会の後、ゼミ内で振り返りを行った際、達成感だけでなく、今後の改善点が出てきた点は期待できる。



ULT_UMプレゼン資料一部

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>

経済学部
経済情報学科
教授
上田真由美(ウエダマユミ)

<専門・担当科目等>
(専門)データ分析、情報推論、ユーザ支援、(担当科目)情報学概論、意思決定論など

<コメント等>

情報技術を活用して、日々の生活をより便利に、安全に、楽しくできるような研究をゼミで行っています。社会共創活動は、実際に企業が求めていることに対して、ゼミのメンバーでより良い提案ができるよう、議論を繰り返しています。

<関係者・企業等>

株式会社フェリーさんふらわあ